

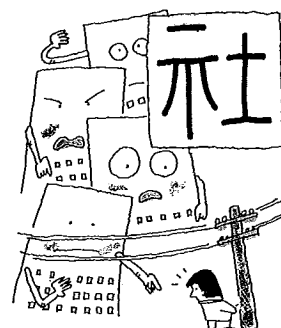
社

〔2年〕

シヤ
やしろ

7画
ラ イ ネ ネ 社 社

〔なりたち〕 神の意味の示（しめすへん）と、土との会意字。昔、農耕を主とする時代には、土地の神を祭り、豊作を祈った。天の神「神」に対して、地の神を「社」という。転じて、「やしろ」。さらに「社会（社を中心とした集団）」の意味。



〔いみじゆく〕
▼社：土地の神を祭つたもの。
神社：神を祭る社。
社殿：神社で、神体が祭つてある建物。
土地の神。

▼人々の集まり。
社会：①共同生活を営む人々の集団。②地域社会。③特定の仲間意識を持った人々の集団。〔用例〕芸術家の社会。

③世の中。世間。〔用例〕社会に出る。
社交：人々が集まって交際すること。〔例〕社交界。

▼「会社」「新聞社」の略。
社用：会社の用務。
社説：新聞や雑誌で、その社の主張として載せる論説。

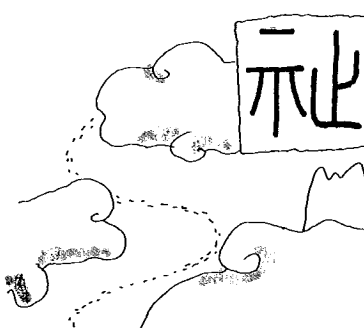
よみかた
社員・社運・社告・社寺・社長・社頭・社務所・結社・公社・支社・商社・退社・入社・本社

社

〔シ〕

8画
ラ イ ネ ネ 社 社

〔なりたち〕 神の意味の示（しめすへん）と、足の裏の形を表し、「止（止まる）意味の止との会意形声字。神の止まる所に幸いがある、ということに「幸い」を表したものを。神から授かる「幸福」。



〔いみじゆく〕
▼幸い。
福祉：幸い。幸福。幸福な生活環境。〔例〕社会福祉（社会の人々全体の幸福。特に、恵まれない人々の幸福。）

祥

シヨウ

10画
ラ イ ネ ネ 祥 祥

〔なりたち〕 美や善の意味の羊と、神の意味の示（しめすへん）との会意形声字。神から授かった善いこと・美しいことの意味で、「幸い・めでたい」ことを表した字。転じて、「めでたいしるし」。



祥

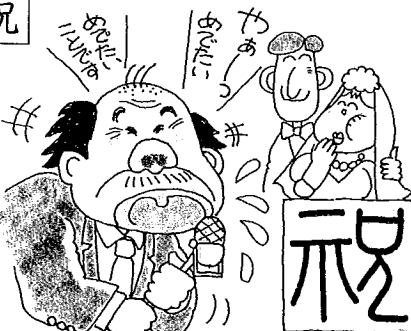
祥 祝

祝

シユク・シユウ

4年
ラ イ ネ ネ 祝 祝

〔なりたち〕 神の意味の示（しめすへん）と、人の意味の儿と口（兄）とで神に祈る意味を表した会意字。「神に祈ること。また、めでたいことをよること。〔いわう〕こと。はわる」



〔いみじゆく〕
▼神に祈る。
祝福：①相手の幸福を祈ること。②キリスト教で、神から与えられる幸福。
▼神に祈る人。神主。
▼めでたいことをよること。祝う。
祝賀：祝いの喜ぶこと。〔例〕祝賀会。
祝宴：祝いの宴会。
祝詞：祝いの言葉。祝辞。
祝詞：神道で、神を祭るときに神官が読み上げる言葉。
祝日：国で定めた祝いの日。
祝儀：①祝いの儀式。特に結婚式。②祝いのときに贈る金銭や品物。
よみかた
祝言・祝賀・祝杯・祝砲・内祝い・慶祝・奉祝・前祝い
さんこう
特別なよみかた↓
祝詞